

Q9

風しんワクチン及び麻しん風しん混合生ワクチンでは、接種前後の避妊期間を設定してありますが、他の生ワクチンの接種はどのように考えたらよいでしょうか。

A

ワクチン接種（ワクチンウイルス）により先天性風疹症候群が発生したという報告はありませんが、中絶した胎盤等からウイルスの分離陽性例があり、理論的リスクを避けるために念のため約2カ月間の避妊が必要であるとされています。

麻疹、おたふくかぜ、水痘に関してもワクチン接種による先天性麻疹、先天性ムンプス、先天性水痘などの報告はありません。しかし、同様に念のため、生ワクチン接種後2カ月程度の避妊をすすめることが妥当と思われる。

ワクチン接種後に妊娠が判明した場合、胎児に与えるリスクは極めて低いところから、自然感染の時のような妊娠の中絶を選択する必要はないと考えられます。しかし、そのような心配事を避けるためにも、接種時の妊娠に関する注意、接種後2カ月ほどの避妊を行うことは、より安全な予防接種と、より安心な妊娠のために必要です。